



Sun Control Station

Software Management モジュール

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 817-5201-10
2003 年 12 月, Revision A

コメントの宛先: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, JavaServer Pages, JSP, JumpStart, Netra, Sun Cobalt, Sun Cobalt RaQ, Sun Cobalt CacheRaQ, Sun Cobalt Qube, Sun Fire, および Ultra は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape および Mozilla は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOKS は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOKS にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Control Station Software Management Module Part No: 817-3611-10 Revision A
-----	--



Adobe PostScript

目次

「Software Management」画面	2
パッケージファイル	2
Software Management で利用可能なタスク	2
Upload	3
Download	3
Publish	3
Unpublish	3
Install	4
Uninstall	4
Package Info	4
Remove	4
Packages	5
パッケージリストの更新	6
パッケージファイルのアップロード	7
1つのパッケージファイルの場合	7
複数のパッケージファイルの場合	8
表示オプションの設定	9
利用可能なパッケージファイルリスト内での検索	11
パッケージファイルのダウンロード	11

パッケージファイルのパブリッシュ	11
パッケージファイルのパブリッシュ解除	12
パッケージファイルのインストール	12
利用可能なパッケージファイルの詳細表示	13
パッケージファイルの削除	14
Installed Software	15
インストール済みソフトウェアリストの更新	15
インストール済みパッケージの詳細表示	16
インストール済みパッケージファイルのアンインストール	17
Needed Software	18
パッケージファイルのダウンロード	19
パッケージファイルのパブリッシュ	19
パッケージファイルのインストール	20
パッケージファイルの詳細表示	21
Settings	22
BlueLinQ サーバとしての Sun Control Station	22
Sun Cobalt サーバアプライアンス向け BlueLinQ サーバ	22
BlueLinQ Settings	22
「Actions」列	23
BlueLinQ サーバの追加	24
BlueLinQ サーバの修正	25
BlueLinQ サーバの削除	25
BlueLinQ Server Settings	26
設定の指定	26
パッケージファイル自動更新のスケジュール設定	27
一般情報	28
「Task Progress」ダイアログ	28
Schedule	28

依存関係チェック 30

状態を示す色 31

「Install Information By Appliance」テーブル 32

「Install Information By Patch」テーブル 32

即時インストール、またはインストールのスケジュール 32

Software Management モジュール

本マニュアルでは、Sun™ Control Station の Software Management (ソフトウェア管理) コントロールモジュールを通じて利用可能な機能とサービスについて説明します。このモジュールで可能な作業は、次のとおりです。

- Sun BlueLinQ サーバから、またはその他の Sun Control Station から利用可能なパッケージファイルを表示し、そのいずれかの場所から、使用するコントロールステーションにファイルをダウンロードする。
- 使用するコンピュータからコントロールステーションにパッケージファイルをアップロードする。
- コントロールステーションが新規パブリッシュパッケージファイルを確認できる BlueLinQ サーバを追加する。
- 管理対象ホスト上のインストール済みパッケージファイルを表示する。
- 管理対象ホストで必要とされるパッケージファイルの一覧を生成する。
- 管理対象ホストへパッケージファイルをインストール、または管理対象ホストからパッケージファイルをアンインストールする。
- BlueLinQ が有効化されたクライアントがパッケージファイルを見えるようにする (「パブリッシュする」)、または見えるパッケージファイルを取り除く (「パブリッシュ解除する」) (コントロールステーションを BlueLinQ サーバとして動作させる)。

注 – この章に示すほとんどの手順では、最初のステップで左側のメニューバーにある「Software Management」をクリックし、2 番目のステップでサブメニューの項目をクリックします。

各手順のステップ数を減らすため、これらのメニューコマンドをまとめています。各項目の間に大なり括弧を入れてあります。

たとえば、「Software Management」>「Packages」は、左側のメニューバーにある「Software Management」をクリックしてから、サブメニューの「Packages」をクリックすることを意味します。

「Software Management」画面

左側の「Software Management」メニューをクリックすると、次のようなサブメニュー項目が表示されます。

- Packages (5 ページの「Packages」を参照)
- Installed Software (15 ページの「Installed Software」を参照)
- Needed Software (18 ページの「Needed Software」を参照)
- Settings (22 ページの「Settings」を参照)

「Installed Software」機能と「Needed Software」機能では、管理対象ホスト名の隣にある矢印をクリックすると、管理対象ホスト上にインストールされたパッケージファイルの一覧、またはそのホストに必要とされるパッケージファイルの一覧が表示されます。

パッケージファイル

このマニュアルでは、「パッケージファイル」の語は次のパッケージファイルを指します。

- Sun Cobalt サーバアプライアンス向けの Sun Cobalt パッケージファイル
- Linux ベースのサーバ (Sun LX50 サーバなど) 向けの Red Hat Package Manager (RPM) ファイル
- Solaris ベースのサーバ向けの SVR4 パッケージファイル

Software Management で利用可能なタスク

この節では、パッケージファイルで実行可能なタスクについて説明します。

注 - なお、それぞれの画面ですべてのタスクが利用できるわけではありません。

Upload

「Upload」は、使用しているコンピュータからアクセス可能な場所から、コントロールステーション上のローカルリポジトリにパッケージファイルをアップロードします。コントロールステーションに配置されたパッケージファイルが適切な形式であり、かつ適切なリストデータを含んでいれば、そのパッケージファイルはパブリッシュまたはインストールできます。

Download

「Download」は、リモートリポジトリからコントロールステーション上のローカルリポジトリへ、パッケージファイルをダウンロードします。

Publish

「Publish」は、パッケージファイルを、BlueLinQ が有効化されている外部のサーバへダウンロードできるようにします。パッケージファイルは、リモートサーバまたはローカルリポジトリからパブリッシュできます。

パッケージファイルがリモートサーバに配置され、そのパッケージファイルをパブリッシュするように選択した場合、そのパッケージファイルはまず、コントロールステーション上のローカルリポジトリにダウンロードされ、その後で利用できるように設定されます。

Sun Control Station 上でパブリッシュされたパッケージファイルを表示するには、BlueLinQ が有効化されているサーバ上の BlueLinQ 設定を次の URL に指定します。

`http://<fully_qualified_domain_name_of_SCS>/packages/`

Unpublish

「Unpublish」は、パッケージファイルを、BlueLinQ が有効化されているサーバが利用できないようにします。

この場合、パッケージファイルは BlueLinQ が有効化されている外部のサーバには不可視となりますが、「Package Management」テーブルには表示されます。パッケージファイルは、コントロールステーション上のローカルリポジトリに残っています。

Install

「Install」は、選択された管理対象ホスト上にパッケージファイルをインストールします。パッケージファイルは、ローカルリポジトリまたはリモートリポジトリからインストールできます。

パッケージファイルがリモートサーバに配置され、そのパッケージファイルを管理対象サーバにインストールするように選択した場合、そのパッケージファイルはまず、コントロールステーション上のローカルリポジトリにダウンロードされ、その後で管理対象ホストにインストールされます。

パッケージファイルをインストールする前に、コントロールステーションは依存関係チェックを実行し、確認の画面を表示します。詳細は、30 ページの「依存関係チェック」を参照してください。

Uninstall

注意 – ホストからパッケージファイルをアンインストールすると、そのホストの動作に影響を与えることがあります。

「Uninstall」は、この機能が利用可能になっているパッケージファイルに対して、選択された管理対象ホストからそのパッケージファイルをアンインストールします。

パッケージファイルがアンインストールされると、システムは、該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

Package Info

「Package Info」は、パッケージファイルに関する詳細な情報を表示します。表示される内容は、ベンダー、パッケージファイルに関する説明、パッケージファイルのサイズ、パッケージファイルのアンインストールの可否、パッケージをインストールした後にホストを再起動する必要がある有無、およびパッケージファイルをインストールするためにインストールしておく必要があるパッケージです。

Remove

「Remove」は、利用可能なパッケージファイルの一覧から、パッケージを削除します。パッケージファイルがリモート BlueLinQ サーバに配置されている場合は、利用可能なパッケージファイルの一覧から、そのパッケージファイルに対するエントリが取り除かれます。パッケージファイルがコントロールステーション上のローカルリポ

ジトリ内に配置されている場合は、そのパッケージファイルに対するエントリが利用可能なパッケージファイルの一覧から取り除かれ、パッケージファイルがリポジトリから削除されます。

パッケージファイルがコントロールステーション上で「パブリッシュ」されている場合、そのパッケージを削除すると、BlueLinQ が有効化されているサーバはそのパッケージを利用できなくなります。

「Refresh」オプションを使用すると、リモート BlueLinQ サーバ上に配置されているパッケージファイルは再表示されます。

注 - 「Remove」オプションでは、リモート BlueLinQ サーバからパッケージファイルは削除されません。

Packages

「Packages」サブメニューで、リモートサーバとローカルサーバ上のパッケージファイルを管理できます。セレクトは、Sun Control Station に認識されているすべてのソフトウェアパッケージの一覧を表示します。対象となるソフトウェアパッケージは、コントロールステーション上にも、またリモート BlueLinQ サーバ上にも配置可能です。

このメニュー項目で利用可能なタスクに関する説明については、2 ページの「Software Management で利用可能なタスク」を参照してください。

図 1 に、「Package Management」テーブルの例を示します。

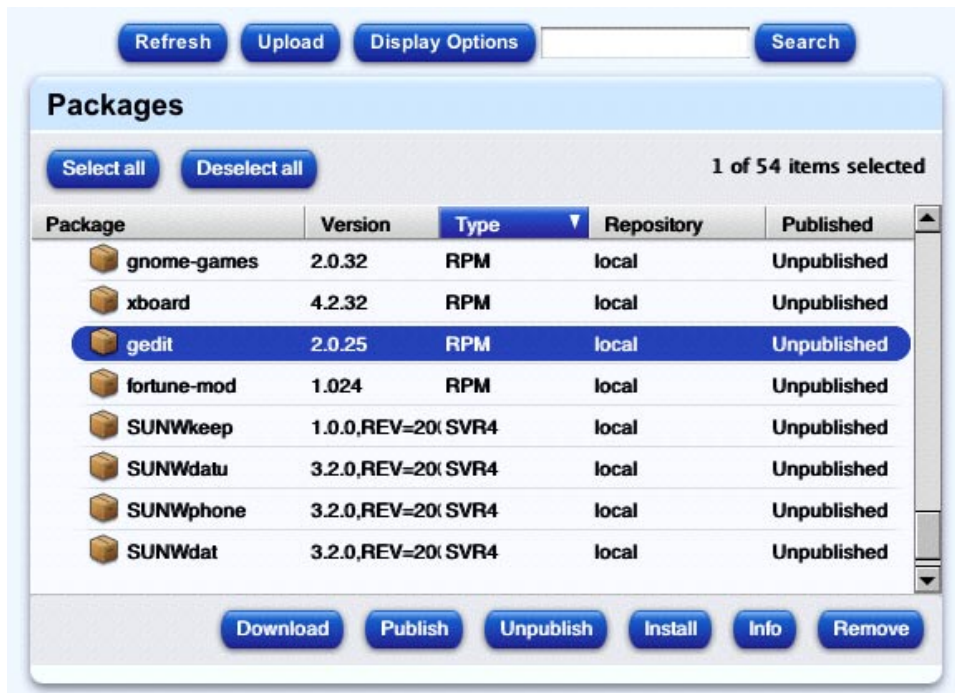


図 1 「Packages」 テーブル

パッケージリストの更新

「Refresh」機能を使うと、コントロールステーションが、BlueLinQ サーバに即時照会し、「Packages」テーブル内のパッケージファイルのリストが更新されます。

それぞれのパッケージファイルに関する情報は、BlueLinQ サーバ上に保管されます。同一のパッケージが 2 台の異なる BlueLinQ サーバ上に表示された場合、「Packages」テーブルは、コントロールステーションが最後にチェックした BlueLinQ サーバからのパッケージファイルを表示します。「Repository」列は、パッケージが見つかった場所を示します。

利用可能なパッケージファイルのリストを更新する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. テーブルの上の「Refresh」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのアップロード

パッケージファイルは、一度に1つでも、または複数でもアップロードできます。

1つのパッケージファイルの場合

1つのパッケージファイルをアップロードする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. テーブルの上の「Upload」をクリックします。
「Manual Package Upload」テーブルが表示されます (図2を参照)。
3. どちらかのラジオボタンをクリックし、パッケージファイルを取得するロケーションを入力します。
 - http://、https:// または ftp:// で始まる URL を入力し、インターネット上の場所からパッケージファイルをダウンロードします。
 - パッケージファイルへのパスとファイル名を入力するか、あるいは「参照...」をクリックして場所を指定します。

注 – コントロールステーションがプロキシを介してインターネットにアクセスする場合は、「Station Settings」 > 「Settings」に入力したプロキシ設定が使用されます。これらの設定を行っていない場合は、URL でパッケージファイルをアップロードする前に設定する必要があります。

詳細は、『管理者マニュアル』(PDF)の第2章「「Settings」(設定)」を参照してください。

4. 「Upload」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。



図 2 1つのパッケージファイルをアップロードする場合

複数のパッケージファイルの場合

注 - パッケージファイルは、最終手順で「Upload」をクリックするまでコントロールステーションにアップロードされません。

一度に複数のパッケージファイルをアップロードする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. テーブルの上の「Upload」をクリックします。
3. テーブルの上のプルダウンメニューから、「Upload Multiple Packages」を選択します。
「Manual Package Upload」テーブルが表示されます。
4. 「Source File」フィールドに、アップロードするパッケージファイルのリストを含むテキストファイルのパスとファイル名を入力するか、または「参照...」をクリックして場所を指定します。

そのファイルには、パッケージの場所を、コントロールステーション上のディレクトリパスとして、または URL (<http://> または <https://>) として入力できます。ファイル内に記載されるパッケージファイルの例を以下に示します。

```
home/pkg/packageA.pkg
http://ftp.cobalt.sun.com/pub/packages/raq4/eng/RaQ4-All-Security-1
.0.1-8061.pkg
/tmp/packageB.pkg
https://ftp.server.com/pub/package.pkg
```

注 – コントロールステーションがプロキシを介してインターネットにアクセスする場合は、「Station Settings」>「Settings」に入力したプロキシ設定が使用されます。これらの設定を行っていない場合は、URL でパッケージファイルをアップロードする前に設定する必要があります。

詳細は、『管理者マニュアル』(PDF) の第 2 章「「Settings」(設定)」を参照してください。

5. 「Upload」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

表示オプションの設定

下記の項目に従って、「Package Management」テーブル内に表示するパッケージファイルが選択できます。

- パッケージファイルが配置されるリポジトリ
- 適合するパッケージファイルを表示するアプライアンス
- パッケージファイルのパブリッシュ状態

この節で説明する表示オプションは、変更が行われない限り有効です。

注 – ここで説明する表示オプションは、「Package Management」テーブルだけに適用されます。

表示オプションを設定する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」>「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. テーブルの上の「Display Options」をクリックします。
「Display Options」テーブルが表示されます (図 3 を参照)。
3. 表示オプションを設定します。
 - 「Repositories」 - パッケージファイルを表示したいリポジトリを選択します。
 - 「Products」 - 適合するパッケージファイルを表示するアプライアンスを選択します。
 - 「Published States」 - 「Published Package Files」、「Unpublished Package Files」、またはその両方を選択します。

スクロールボックス間で項目を移動するには、リスト内で対象の項目を選択し、移動する方向の矢印をクリックします。

注 - 特定のアプリアンスに対するパッケージファイルだけを表示する場合は、パッケージファイルを表示しない個々のアプリアンスだけでなく、「All」も、「Products Displayed」スクロールウィンドウから「Products Not Displayed」スクロールウィンドウに移動する必要があります。

4. 「Change Display」をクリックします。

「Package Management」テーブルが更新され、選択された表示オプションに従って、利用可能なパッケージファイルの一覧が表示されます。

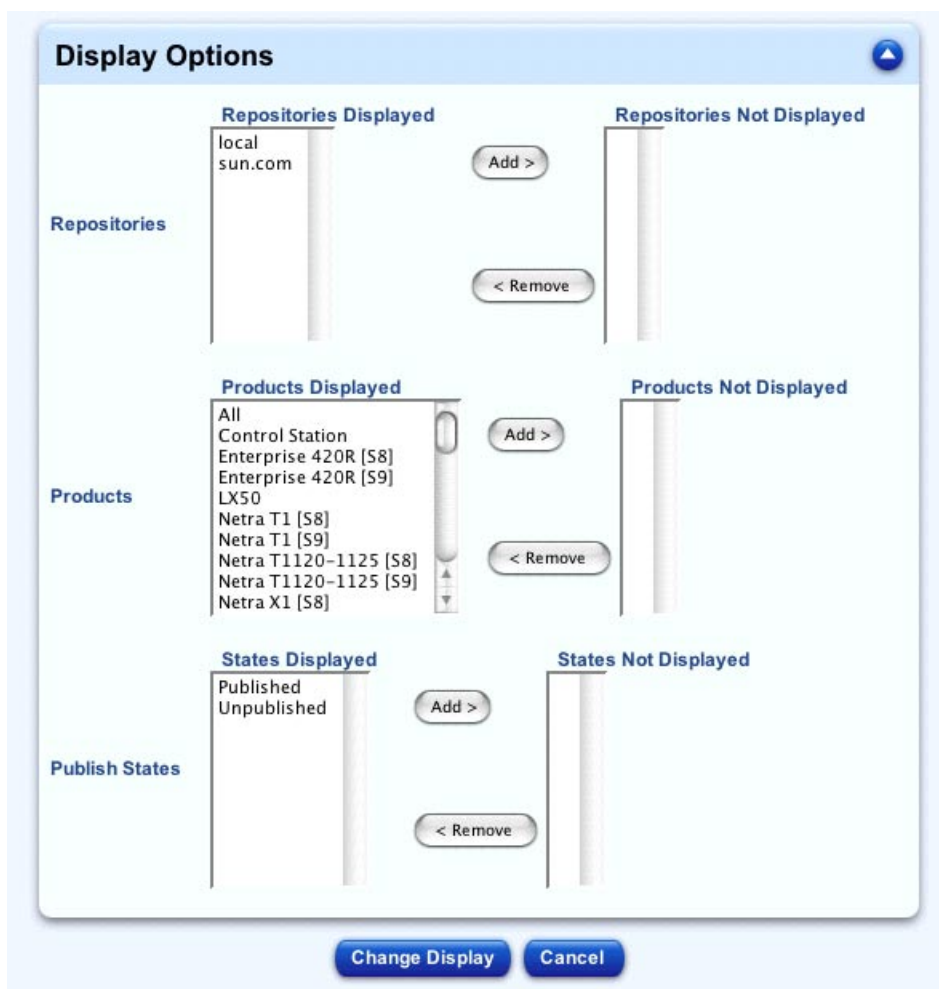


図 3 「Display Options」テーブル

利用可能なパッケージファイルリスト内での検索

利用可能なパッケージファイルのリスト内で文字列を検索する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」 を選択します。
「Packages」 テーブルが表示されます。
2. テーブルの上の「Search」 フィールドに、利用可能なパッケージファイルのリスト内で検索する文字列を入力します。
検索は、テーブル内のパッケージファイル名、バージョン、および記述フィールドをもとに行われます。
3. 「Search」 をクリックします。
「Package Management」 テーブルが更新され、検索結果が表示されます。
結果の一覧に別の操作を行うこともできます。また、検索結果に対する検索も可能です。
パッケージファイルの全体リストに戻るには、左側のメニューで「Package Management」 をクリックします。

パッケージファイルのダウンロード

BlueLinQ サーバからコントロールステーション上のローカルリポジトリへパッケージファイルをダウンロードする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」 を選択します。
「Packages」 テーブルが表示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、ダウンロードするパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Download」 をクリックします。
「Task Progress」 ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのパブリッシュ

BlueLinQ が有効化されている外部のサーバに利用できるようにするためにパッケージファイルのパブリッシュする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」 を選択します。
「Packages」 テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルリストで、パブリッシュするパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Publish」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのパブリッシュ解除

BlueLinQ が有効化されている外部のサーバが利用できないようにするためにパッケージファイルをパブリッシュ解除する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、パブリッシュ解除するパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Unpublish」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのインストール

注 – Sun Control Station は、依存関係チェックの結果を表示する画面上で「Install」がクリックされるまで、パッケージファイルをホストにインストールしません。

注 – パッケージファイルがインストールされると、システムは、該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

管理対象ホスト上にパッケージファイルをインストールする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、インストールするパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「Install」をクリックします。

別のアプレットウィンドウが開き、パッケージをインストールする管理対象ホストを選択するよう求められます。上の「Select All」をクリックすれば、リスト内のすべてのホストを選択できます。

前の画面で選択したパッケージファイルに適合するホストだけが表示されます。

4. 右下の「Continue」をクリックします。

この時点で、Sun Control Station は、選択されたホストについて依存関係のチェックを行い、選択したパッケージファイルをインストールできることを確認します。詳細は、30 ページの「依存関係チェック」を参照してください。

依存関係チェックが完了すると、その結果が「Patch Install Status」テーブルと「Install Information By Host」テーブルに表示されます。

5. 「Install」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

注 - パッケージファイルのインストールは、後で実行するよう設定することもできます。詳細は、28 ページの「Schedule」を参照してください。

利用可能なパッケージファイルの詳細表示

利用可能なパッケージファイルの詳細情報を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。

「Packages」テーブルが表示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルリストで、詳細情報を表示するパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「Info」をクリックします。

「Package Info」テーブルが表示されます (図 4 を参照)。

複数のパッケージファイルを選択すると、それぞれのパッケージに関する情報がテーブルに表示されます。

4. 「Package Info」テーブルには、次の情報が表示されます。

- パッケージファイルの名前
- バージョン番号
- パッケージファイルのベンダー
- パッケージファイルに関する説明
- パッケージファイルの場所
- パッケージファイルのサイズ (メガバイト)
- ホストにインストール後のパッケージファイルのアンインストールの可否

- パッケージファイルのインストール後に、ホストを再起動する必要がある / なし
 - 対象のパッケージファイルをインストールする前に、ホストにインストールする必要があるパッケージファイル (適宜必要な場合)
5. 「Package Management」テーブルに戻るには、右上にある上矢印のアイコンをクリックします。



Package Info	
Name	gedit
Version	2.0.25
Vendor	Red Hat, Inc.
Description	A text editor for GNOME.
Location	gedit-2.0.2-5.i386.rpm
Size	739073
Uninstallable	Yes
Reboot Required	No

図 4 「Package Information」テーブル

パッケージファイルの削除

利用可能なパッケージファイルのリストからパッケージファイルを削除する手順は、次のとおりです。

注 - 「Remove」オプションでは、リモート BlueLinQ サーバからパッケージファイルは削除されません。

1. 「Software Management」 > 「Packages」を選択します。
「Packages」テーブルが表示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、リストから削除するパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Remove」をクリックします。
確認ダイアログが表示され、削除の実行を確認します。

4. 「Remove」をもう一度クリックします。

パッケージがリストから削除され、「Package Management」テーブルが更新されま
す。

Installed Software

「Installed Software」サブメニュー項目は、ユーザーが選択したホスト上にインス
トールされているパッケージファイルの一覧を提供します。

「Installed Software」サブメニュー項目をクリックすると、「Installed Software」
テーブルが表示されます。

このテーブル上には、「Update」ボタンとプルダウンメニューがあります。

- 「Update」 - 選択されたホストへの照会により、インストール済みパッケージ
ファイルの一覧を更新します。
- 「Select View」 - インストール済みパッケージファイルを、ホストまたはパッ
ッケージファイル毎に表示するプルダウンメニューです。
 - 「View By Host」 - 選択されたそれぞれのホストが最上位項目です。そのホス
トにインストール済みパッケージファイルがその下に一覧表示されます。
 - 「View By Package」 - 選択されたそれぞれのパッケージファイルが最上位項目
です。パッケージファイルがインストールされているホストが、パッケー
ジファイル毎に一覧表示されます。

図 5 に、「Installed Packages」テーブルの例を示します。

インストール済みソフトウェアリストの更新

注 - パッケージファイルがインストールまたはアンインストールされると、システ
ムは、該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新し
ます。

管理対象ホスト上のインストール済みパッケージファイルのリストを更新する手順
は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Installed Software」を選択します。

「Installed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストの一覧が提示されます。
図 5 を参照してください。

2. テーブルの上の「Update」をクリックします。

別の Java アプレットウィンドウが開き、インストール済みソフトウェアの一覧を更新するホストを選択するよう求められます。

3. ホストをクリックし、選択します。

4. 右下の「Update」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

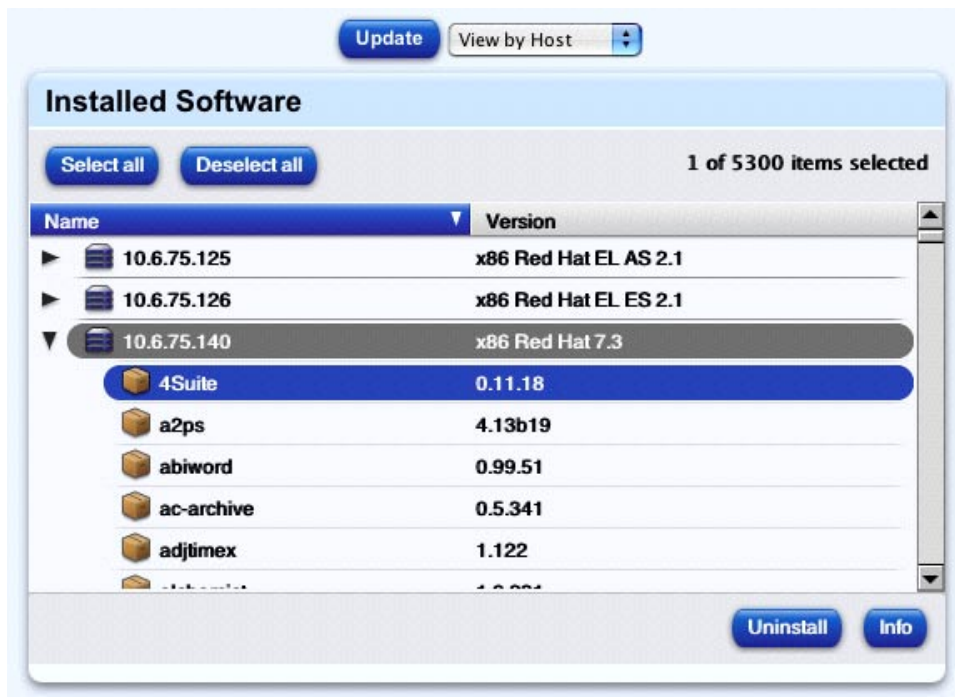


図 5 「Installed Packages」 テーブル

インストール済みパッケージの詳細表示

インストール済みパッケージファイルの詳細情報を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Installed Software」を選択します。

「Installed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストの一覧が提示されます。

2. プルダウンメニューで、ホストごとの表示またはパッケージファイルごとの表示を選択します。
「Installed Packages」テーブルが更新されます。
3. インストール済みパッケージファイルのリストで、詳細情報を表示するパッケージファイルを選択します。
4. 右下の「Info」をクリックします。
「Package Info」テーブルが表示されます。図 4 を参照してください。
複数のパッケージファイルを選択すると、それぞれのパッケージに関する個別のテーブルが表示されます。
5. このテーブルには、次の情報が表示されます。
 - パッケージファイルの名前
 - バージョン番号
 - パッケージファイルのベンダー
 - パッケージファイルに関する説明
 - パッケージファイルの場所
 - パッケージファイルのサイズ (メガバイト)
 - ホストにインストール後のパッケージファイルのアンインストールの可否
 - パッケージファイルのインストール後に、ホストを再起動する必要がある / なし
 - 対象のパッケージファイルをインストールする前に、ホストにインストールする必要があるパッケージファイル (適宜必要な場合)
6. 「Installed Software」テーブルに戻るには、右上にある上矢印のアイコンをクリックします。

インストール済みパッケージファイルのアンインストール

ホストからアンインストールできるパッケージファイルもあります。

注意 – ホストからパッケージファイルをアンインストールすると、そのホストの動作に影響を与えることがあります。

注 – アンインストールできないパッケージファイルをアンインストールしようとすると、UI の下にエラーメッセージが表示されます。

パッケージファイルがアンインストールできるかどうかを確認するには、16 ページの「インストール済みパッケージの詳細表示」を参照してください。

注 - パッケージファイルがアンインストールされると、システムは該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

パッケージファイルをアンインストールする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Installed Software」 を選択します。
「Installed Software」 テーブルが表示され、管理対象ホストの一覧が提示されます。
2. プルダウンメニューで、「View by Host」 表示を選択します。
「Installed Packages」 テーブルが更新されます。
3. インストール済みパッケージファイルリストで、アンインストールするパッケージファイルを選択します。
4. 右下の「Uninstall」 をクリックします。
「Task Progress」 ダイアログが表示されます。

Needed Software

「Needed Software」 サブメニュー項目は、管理対象ホスト上のインストール済みパッケージファイルと、「Package Management」 テーブルのリスト内にあるパッケージファイルを比較します。対象となるパッケージファイルは、コントロールステーション上にも、またリモート BlueLinQ サーバ上にも配置可能です。

選択されたそれぞれのホストについて、結果レポートには、そのホストに現在インストールされていないパッケージファイルが表示されます。

注 - この比較をできるだけ正確に行うために、Sun Microsystems™ では、まず次の操作を行うことを推奨します。

1. 管理対象ホストに対して、「Installed Software」 画面で「Update」 操作を実行する（詳細は、15 ページの「インストール済みソフトウェアリストの更新」を参照）。
 2. BlueLinQ サーバに対して、「Settings」 画面で「Refresh」 操作を実行する（詳細は、6 ページの「パッケージリストの更新」を参照）。
-

このメニュー項目で利用可能なタスクに関する説明については、2 ページの「Software Management で利用可能なタスク」を参照してください。

図 6 に、「Needed Packages」 テーブルの例を示します。

パッケージファイルのダウンロード

BlueLinQ サーバからコントロールステーション上のローカルリポジトリへパッケージファイルをダウンロードする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Needed Software」を選択します。
「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます。それぞれのホストに対して必要なパッケージファイルが、各エントリの下に一覧表示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、ダウンロードするパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Download」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

パッケージファイルのパブリッシュ

BlueLinQ が有効化されている外部のサーバへのダウンロードに利用できるようにするためにパッケージファイルをパブリッシュする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Needed Software」を選択します。
「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます。図 6 を参照してください。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、パブリッシュするパッケージファイルを選択します。
3. テーブルの下にある「Publish」をクリックします。
「Task Progress」ダイアログが表示されます。

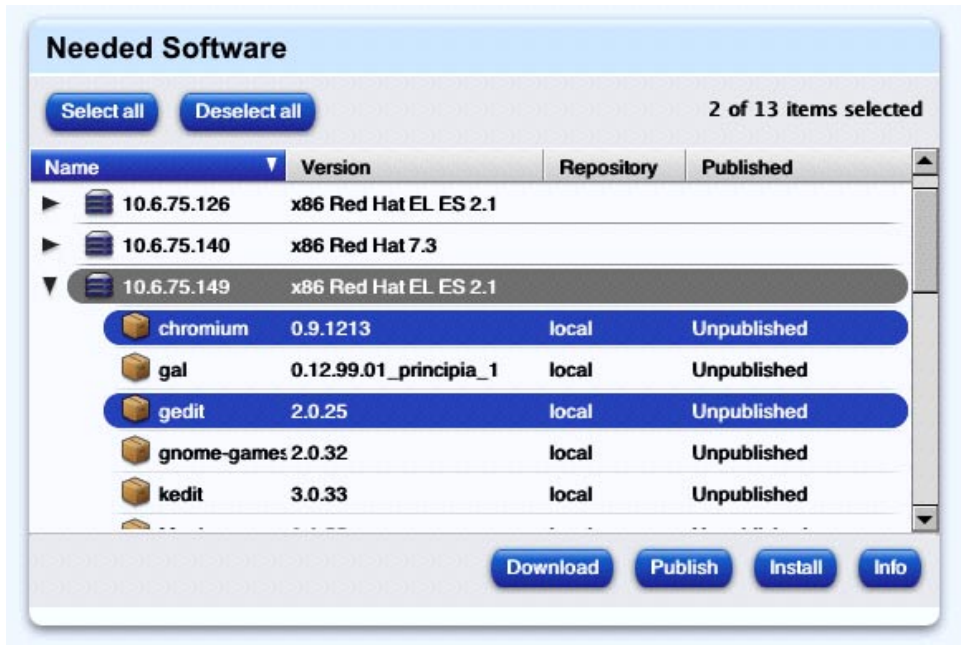


図 6 「Needed Software」 テーブル

パッケージファイルのインストール

注 – Sun Control Station は、「Install」がクリックされるまで、パッケージファイルをホストにインストールしません。

注 – パッケージファイルがインストールされると、システムは該当するホストのインストール済みパッケージファイルの一覧をすぐに更新します。

管理対象ホスト上にパッケージファイルをインストールする手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Needed Software」を選択します。
「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます。
2. 利用可能なパッケージファイルリストで、インストールするパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「Install」をクリックします。

この時点で、Sun Control Station は、選択されたホストについて依存関係のチェックを行い、選択されたパッケージファイルをインストールできることを確認します。詳細は、30 ページの「依存関係チェック」を参照してください。

依存関係チェックが完了すると、その結果が「Patch Install Status」テーブルと「Install Information By Host」テーブルに表示されます。

4. 「Install」をクリックします。

「Task Progress」ダイアログが表示されます。

注 - パッケージファイルのインストールは、後で実行するよう設定することもできます。詳細は、28 ページの「Schedule」を参照してください。

パッケージファイルの詳細表示

必要なパッケージファイルの詳細情報を表示する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Needed Software」を選択します。

「Needed Software」テーブルが表示され、管理対象ホストが提示されます。

2. 利用可能なパッケージファイルリストで、詳細情報を表示するパッケージファイルを選択します。

3. テーブルの下にある「Info」をクリックします。

「Package Info」テーブルが表示されます。図 4 を参照してください。

複数のパッケージファイルを選択すると、それぞれのパッケージに関する個別のテーブルが表示されます。

4. このテーブルには、次の情報が表示されます。

- パッケージファイルの名前
- バージョン番号
- パッケージファイルのベンダー
- パッケージファイルに関する説明
- パッケージファイルの場所
- パッケージファイルのサイズ (メガバイト)
- ホストにインストール後のパッケージファイルのアンインストールの可否
- パッケージファイルのインストール後に、ホストを再起動する必要がある / なし
- 対象のパッケージファイルをインストールする前に、ホストにインストールする必要があるパッケージファイル (適宜必要な場合)

5. 「Needed Packages」テーブルに戻るには、右上にある上矢印のアイコンをクリックします。

Settings

「Settings」サブメニュー項目で、Software Management モジュールの BlueLinQ サーバの追加、修正、および削除ができます。また、「Package Management」テーブル内に表示されたパッケージファイルのリストを更新できます。Sun Control Station は BlueLinQ サーバにアクセスし、管理対象ホストに対して利用可能なパッケージファイルのリストを表示します。

注 - このメニュー項目の下に一覧表示される BlueLinQ サーバは、Sun Control Station によって管理されるホスト用のソフトウェアパッケージを含みますが、コントロールステーション用のソフトウェアパッケージは含みません。

BlueLinQ サーバとしての Sun Control Station

Sun Control Station は、BlueLinQ サーバとして動作できます。他の Sun Control Station を含め、すべての BlueLinQ が有効化されたサーバは、コントロールステーション上でパブリッシュされたパッケージファイルを認識できます。そのため、コントロールステーションはさらに効率的にパッケージファイルの共有や配布を行い、Software Management モジュールで「パブリッシュ」機能を活用できるようになっています。

Sun Cobalt サーバアプライアンス向け BlueLinQ サーバ

Sun BlueLinQ サーバ updates.cobalt.com/packages/ は、Sun Cobalt サーバアプライアンスに利用可能なパッケージファイルのリストを提供しています。

このサーバを BlueLinQ サーバのリストに追加するには、24 ページの「BlueLinQ サーバの追加」を参照してください。

BlueLinQ Settings

「BlueLinQ Settings」テーブルは、Software Management モジュールで設定した BlueLinQ サーバをすべて表示します。Software Management モジュールは、それらのサーバから利用可能なすべてのパッケージファイルを表示します。

注 - 入力した BlueLinQ サーバのホスト名は、Sun Control Station がアクセスするドメインネームシステム (DNS) サーバから認識可能なものでなくてはなりません。

このテーブルには 3 つの列があります。図 7 に、このテーブルの例を示します。

- 「Name」 - BlueLinQ サーバの名前
- 「URL」 - BlueLinQ サーバのホスト名または IP アドレス
- 「Actions」 - サーバ設定の修正、または BlueLinQ サーバの削除



BlueLinQ Settings		
Name ▼	URL	Actions
Alternate SCS	http://10.6.75.107/packages/	 
BlueLinQ	http://devbluelinq.sfbay.sun.com/packages/	 

[Add Server](#) [Server Settings](#)

図 7 「BlueLinQ Settings」 テーブル

BlueLinQ サーバの一覧は、サーバ名または URL アドレスで、昇順でも降順でもソートできます。

昇順は、値の小さい方から大きい方 (a-z あるいは 1-9) という順序です。降順は、値の大きい方から小さい方 (z-a あるいは 9-1) という順序です。デフォルトでは、「BlueLinQ Settings」テーブルはサーバ名の昇順でソートされています。

ソートされている列の見出しには、「三角形」のアイコンが下向き (昇順) または上向き (降順) で表示されます。

「Actions」列

BlueLinQ サーバを追加すると、そのサーバ上でさまざまな操作ができます。操作は「BlueLinQ Settings」テーブルの「Actions」列内からできます。詳細は、順を追って説明します。

- BlueLinQ サーバを修正する
- BlueLinQ サーバを削除する

BlueLinQ サーバの追加

注 - BlueLinQ サーバを追加する場合、その特定の BlueLinQ サーバについて、HTTP と FTP 照会に関する proxy:port 設定を指定できます。この指定により、ファイアウォール内の Sun Control Station とファイアウォール外の Sun Control Station が設定できます。

BlueLinQ サーバを Software Management モジュールに追加する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」を選択します。
「BlueLinQ Settings」テーブルが表示されます。
2. テーブルの下の「Add Server」をクリックします。
「Add A BlueLinQ Server」テーブルが表示されます (図 8 を参照)。
3. 下に示すフィールドを設定します。
 - 「Server Name」 - BlueLinQ サーバの名前を入力します。
 - 「Server URL」 - BlueLinQ サーバの URL を入力します。
たとえば、`http://updates.cobalt.com/packages/` のように入力します。
 - 「Description (Optional)」 - その BlueLinQ サーバに関する説明を入力します。
255 文字以内で記述してください。
 - 「HTTP Proxy:Port (Optional)」 - BlueLinQ サーバに対してファイアウォール外にアクセスするときに、プロキシサーバを介さなければならない場合は、HTTP 照会用のプロキシサーバとポート番号を入力します。
たとえば、`proxy.mycompany.com:8080` のように入力します。
 - 「FTP Proxy:Port (Optional)」 - BlueLinQ サーバに対してファイアウォール外にアクセスするときに、プロキシサーバを介さなければならない場合は、FTP 照会用のプロキシサーバとポート番号を入力します。
たとえば、`proxy.mycompany.com:8080` のように入力します。
4. 「Save」をクリックします。
「BlueLinQ Settings」テーブルが更新され、新規サーバが追加されます。サーバは、サーバ名の昇順にソートされます。

新規に追加された BlueLinQ サーバから利用可能なパッケージファイルを表示するには、テーブルの下にある「Refresh」をクリックします。詳細は、6 ページの「パッケージリストの更新」を参照してください。

Add a BlueLinQ Server

Use this form to add a new BlueLinQ Server to this Control Station

Server Name

Server URL

Description (optional)

HTTP Proxy:Port (optional)

FTP Proxy:Port (optional)

Save Cancel

図 8 「Add A BlueLinQ Server」 テーブル

BlueLinQ サーバの修正

BlueLinQ サーバを修正する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。
「BlueLinQ Settings」 テーブルが表示されます。
2. テーブル内で、修正する BlueLinQ サーバを特定します。
3. 「Actions」 列内で鉛筆のアイコンをクリックします。
「Modify BlueLinQ Server」 テーブルが表示されます。
4. サーバ名、サーバの URL、サーバに関する説明、HTTP Proxy:Port、あるいは FTP Proxy:Port を修正します。
「Description」、「HTTP Proxy:Port」、および「FTP Proxy:Port」フィールドは、省略可能なフィールドです。
5. 「Save」 をクリックします。
「BlueLinQ Settings」 テーブルが表示されます。サーバ名や URL に変更を加えた場合は、変更された情報が表示されます。

BlueLinQ サーバの削除

Software Management モジュールから BlueLinQ サーバを削除する場合、そのサーバから利用可能なすべてのパッケージファイルは、「Package Management」 テーブルからすぐに削除されます。

その BlueLinQ サーバからローカルリポジトリにダウンロードされたパッケージファイルは、その後も利用可能であり、リストに表示されます。

BlueLinQ サーバを削除する手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。

「BlueLinQ Settings」 テーブルが表示されます。

2. テーブル内で、削除する BlueLinQ サーバを特定します。

3. 「Actions」 列内で削除のアイコンをクリックします。

確認ダイアログが表示され、削除の実行を確認します。

4. 「Delete Server」 をクリックします。

サーバが削除された状態で、「BlueLinQ Settings」 テーブルが表示されます。

BlueLinQ Server Settings

「BlueLinQ Server Settings」 テーブルでは、追加した BlueLinQ 設定に関して、いくつかの設定が行えます (図 9 を参照)。

注 - この画面で行われた設定は、「BlueLinQ Settings」 テーブルで一覧に表示されるすべての BlueLinQ サーバに適用されます。

「BlueLinQ Server Settings」 テーブルには、次のフィールドがあります。

- 「Automatically Download Packages」 このチェックボックスが有効になっている場合、利用可能なパッケージファイルは、Sun Control Station 上のローカルリポジトリに自動的にダウンロードされます。

この画面からタスクのスケジュールを作成し、コントロールステーションが BlueLinQ サーバ上の新規パッケージファイルを自動的に確認するようにできます。この操作は、単にテーブルの上の「Schedule Autoupdate」 をクリックするだけでできます。

自動更新をスケジュールする際は、新規ソフトウェアに関する通知やソフトウェア更新に関する照会エラーを送付する電子メールアドレスを指定できます。

設定の指定

BlueLinQ サーバ設定を行う手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」 を選択します。

「BlueLinQ Settings」 テーブルが表示されます。

2. テーブルの下の「Server Settings」をクリックします。
「BlueLinQ Server Settings」テーブルが表示されます (図 9 を参照)。
3. 「Automatically Download Packages」チェックボックスを有効または無効にします。
4. 「Save」をクリックします。
「BlueLinQ Settings」テーブルが表示されます。テーブルの上に、サーバ設定の保存が完了したことを通知するメッセージが表示されます。



図 9 「BlueLinQ Server Settings」テーブル

パッケージファイル自動更新のスケジュール設定

BlueLinQ サーバ設定を行う手順は、次のとおりです。

1. 「Software Management」 > 「Settings」を選択します。
「BlueLinQ Settings」テーブルが表示されます。
2. テーブルの下の「Server Settings」をクリックします。
「BlueLinQ Server Settings」テーブルが表示されます (図 9 を参照)。
3. テーブルの上の「Schedule Autoupdate」をクリックします。
「Schedule Settings for Auto Download」テーブルが表示されます。
詳細は、28 ページの「Schedule」を参照してください。

一般情報

「Task Progress」ダイアログ

たとえば、パッケージファイルのホストへのインストールや新規パッケージファイルのバブリッシュなどのタスクを起動すると、「Task Progress」ダイアログが表示されます。このダイアログボックスには、そのときのタスクの状態を示す「Status」フィールドと進行状況バーが表示されます。進行状況バーが 100% になったら、タスクは完了です。

現在のタスクの実行中に UI で別のタスクを実行する場合は、「Task Progress」ダイアログをバックグラウンドに移動できます。バックグラウンドに移動するには、進行状況バーの下にある「Run Task In Background」ボタンをクリックします。

「Task Progress」ダイアログに戻るには、左側の「Administration」>「Tasks」を選択します。タスクのテーブルが表示されます。タスクがまだ実行中の場合は、「Duration」列に状態メッセージが表示されます。この列の進行状況バーのアイコンをクリックすると、このタスクの「Task Progress」ダイアログが再表示されます。

タスクが完了し、進行状況バーが 100% になったら、「Task Progress」ダイアログの下に「Done」と「View Events」の 2 つのボタンが表示されます。

- 完了したタスクに関連するイベントのリストを表示するには、「View Events」をクリックします。「Events For <タスク>」テーブルが表示されます。右上にある上矢印のアイコンをクリックすると、「Tasks」テーブルが表示されます。
- 前の画面に戻るには、「Done」をクリックします。

Schedule

スケジュール機能（「スケジューラ」ともいう）を使用すると、1 つまたは複数のタスクを後で実行するスケジュールを設定できます。

Sun Control Station のタスクの多くはスケジュールを設定できます。スケジュールを設定できる場合、「Schedule」というボタンが、最後のステップのテーブルまたは選択ウィンドウに表示されます。

スケジュール機能の動作についての詳細は、『管理者マニュアル』（PDF）の第 1 章、「Schedule（スケジュール）」を参照してください。

スケジューラの操作を次に示します。これはどのタスクでも同じです。

1. タスクについて必要なフィールドに値を指定します。

2. 「Schedule」をクリックします。
「Schedule Settings For <タスク>」が表示されます。
3. タスクのスケジュールには次の設定があります。
 - 「Run date」 - プルダウンメニューで、タスクを実行する日付を入力します。
 - 「Run Time」 - プルダウンメニューで、タスクを実行する時刻を入力します。
 - 「Email Address」 (省略可能) - タスクの実行が通知される人の電子メールアドレスを入力します。
 - 「Notify When Starting」 - タスクの開始時に通知する場合、このチェックボックスを有効にします。
 - 「Notify When Finished」 - タスクの完了時に通知する場合、このチェックボックスを有効にします。
4. 一部の機能については、テーブルの上にあるプルダウンメニューを使用してタスクの頻度を設定できます (毎時、毎日など)。
5. 「Cancel」または「Save」をクリックします。
「Cancel」をクリックした場合、タスクのスケジュールは保存されません。
「Scheduled Tasks」テーブルが表示されますが、キャンセルしたタスクは含まれません。
「Save」をクリックした場合は、スケジュールが設定されているタスクのリストにこのタスクが追加されます。「Scheduled Tasks」テーブルに新しいタスクが表示されます。
6. このテーブルでは、スケジュールが設定されているタスクの詳細を表示したり、タスクを変更または削除したりできます。
スケジュールされたタスクの詳細を表示するには、虫めがねのアイコンをクリックします。
スケジュールされたタスクを変更するには、鉛筆のアイコンをクリックします。
スケジュールされたタスクを削除するには、削除のアイコンをクリックします。
図 10 に、スケジューラテーブルの例を示します。

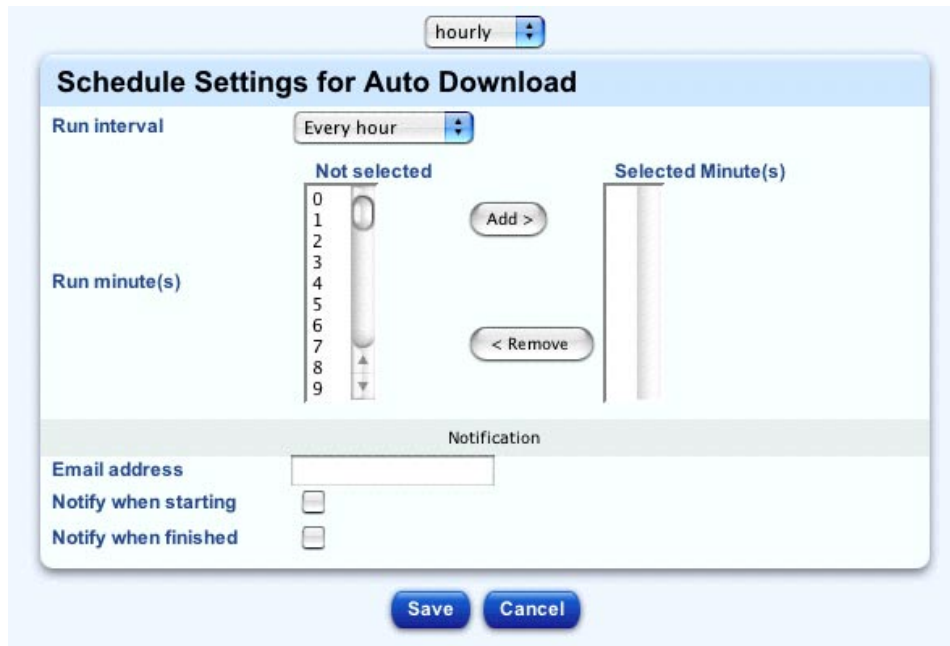


図 10 スケジューラテーブル

依存関係チェック

パッケージファイルのインストール作業を開始したときに、Sun Control Station はまず選択されたホストについて依存関係のチェックを行い、選択したパッケージファイルがインストールできることを確認します。この操作では、次の 3 つの事項を確認します。

- 選択されたパッケージファイルをインストールする前に、他に必要とされるパッケージファイルがあるかどうか。

もし他に必要なパッケージファイルがあり、コントロールステーションがそれらのパッケージファイルを利用可能な状態にあれば、まずそれらのパッケージファイルが適切な順序でインストールされ、選択されたパッケージファイルはその後にインストールされます。

- 選択されたパッケージファイルのバージョンが、対象のホストにとって適切かどうか。
- 選択されたパッケージファイルが、ホストにすでにインストールされているかどうか。

コントロールステーションで、インストールの確認または取り消しを確認する画面が表示されます。

インストールタスクは単純な一括操作で、一度の操作ですべてのパッケージファイルが適切なホストにインストールされます。**Sun Control Station** がリゾルブできないパッケージファイルの依存関係がある場合は (赤色アイコンで示される状態)、インストールタスクは全く実行されません。

状態を示す色

確認画面では、「Patch Install Status」テーブルが上に表示されます。

このテーブルでは、インストールタスクの総合的な状態が、色付きの丸いアイコンで表示されます。インストールタスク内のコンポーネントに黄色で示される状態のものがあれば、そのインストールタスクの総合的な状態が黄色のアイコンで表示されます。赤で示される状態のコンポーネントがあれば、その総合的な状態は赤のアイコンで示されます。

状態は次のように示されます。



緑色の円にチェックマーク -- 依存関係の問題がなく、ホストにパッケージファイルをインストールできます。



黄色の円に感嘆符 -- ホストにインストールするパッケージファイルに、リゾルブ可能な依存関係の問題が 1 つ以上あります。インストールタスクは続行可能です。コントロールステーションはまず、必要なパッケージファイルをインストールし、ホスト上の依存関係の問題をリゾルブし、次に選択されたパッケージファイルをインストールします。



赤い円に X マーク -- 選択されたパッケージファイルに、コントロールステーションがリゾルブできない依存関係の問題が 1 つ以上あります。赤色アイコンが表示されている場合、インストールタスクは続行不能です。

各サービスまたはハードウェアコンポーネントの状態は、各項目の横に、色付きの丸いアイコンで表示されます。灰色の円に点線、緑色の円にチェックマーク、黄色の円に感嘆符、または赤い円に X マークがあるアイコンがあります。提示されるそれぞれのアイコンに対する対処方法は、次のとおりです。

黄色または赤で示される状態については、「Patch Install Status」テーブルの下に表示される「Install Information by Appliance」または「Install Information by Patch」テーブルで、必ず詳細を確認してください。

図 11、図 12、図 13 および 図 14 に、確認画面上に表示される依存関係チェックの例を示します。

「Install Information By Appliance」テーブル

デフォルトでは、「Install Information by Appliance」テーブルが表示されます。図 11 に例を示します。このテーブルには、次の 5 つの列があります。

- 「Status」 - ホストに関するインストールタスクの状態が、色つきの丸とアイコンで表示されます。
- 「Comment」 - 依存関係の問題に関するコメントが表示されます。
- 「Client IP」 - パッケージファイルを受け取るホストの IP アドレスが表示されます。
- 「# Pkgs」 - ホストにインストールされるパッケージファイル数が表示されます。
- 「Details」 - ホストにインストールされるパッケージファイルを表示できます。またインストール全体からホストを除外することができます。

インストールするパッケージファイルを表示すると、2 つ目のテーブルに情報が表示されます。このテーブルでアイコンをクリックすると、パッケージファイルに関するすべての情報を表示できます。

管理対象ホストのどれかが赤色アイコンで示される状態にある場合は、コントロールステーションがリゾルブできない依存関係の問題があります。そのようなホストは対象外にするとインストールタスクを継続できます。

「Install Information By Patch」テーブル

「Install Information by Patch」テーブルを表示するには、上のプルダウンメニューから「View by Patches」を選択します。図 12 に例を示します。このテーブルには、次の 5 つの列があります。

- 「Status」 - パッケージファイルに関するインストールタスクの状態が、色つきの丸アイコンで表示されます。
- 「Package Name」 - パッケージファイルの名前が表示されます。
- 「Version」 - パッケージファイルのバージョンが表示されます。
- 「Number of Hosts」 - パッケージファイルがインストールされるホスト数が表示されます。
- 「Details」 - パッケージファイルがインストールされるホスト、またはパッケージファイル情報を表示します。

選択されたホストすべてに赤アイコンが表示されている場合は、すべてのホストで依存関係の問題を引き起こしているのがひとつのパッケージファイルなのかどうか、このテーブルで確認できます。

即時インストール、またはインストールのスケジュール

インストールタスクを続行できる場合、パッケージファイルをそのときにインストールするのか、あるいは後でインストールするようにスケジュールするのかが選択できます。

- 「Install」 をクリックすると、「Task Progress」ダイアログが表示されます。詳細は、28 ページの「Task Progress」ダイアログを参照してください。
- 「Schedule」 をクリックすると、「Scheduler」画面が表示されます。詳細は、28 ページの「Schedule」を参照してください。

The screenshot shows the 'Patch Install Status' interface with the 'View by Appliance' dropdown menu selected. The overall status is 'Install OK' with a green checkmark. Below the status, there are three buttons: 'Install', 'Schedule', and 'Cancel'. The 'Install Information by Appliance' table is displayed below.

Status	Client IP	Comment	# Pkgs	Details
✓	10.6.75.147	Install OK as specified.	2	🔍 🔄

図 11 緑色アイコンの「Install Status」テーブル（「By Appliances」表示）

The screenshot shows the 'Patch Install Status' interface with the 'View by Patch' dropdown menu selected. The overall status is 'Install OK' with a green checkmark. Below the status, there are three buttons: 'Install', 'Schedule', and 'Cancel'. The 'Install Information by Patch' table is displayed below.

Status	Package Name	Version	# Appliances	Details
✓	gedit	2.0.25	1	🔍 🔄
✓	gnome-games	2.0.32	1	🔍 🔄

図 12 緑色アイコンの「Install Status」テーブル（「By Patches」表示）

View by Appliance ▾

Patch Install Status

Overall Status 

Recommended Action **Install Warning.** Due to pre-install checks, changes were made to the original install list of packages. Check details before installing.

Install **Schedule** **Cancel**

Install Information by Appliance

Status	Client IP	Comment	# Pkgs	Details
	192.18.87.24	Install OK with changes made to the original install list of packages.	1	 

図 13 黄色アイコンの「Install Status」テーブル

View by Appliance ▾

Patch Install Status

Overall Status 

Recommended Action **Install Failed.** Unable to install packages due to the failure of pre-install checks.

Cancel

Install Information by Appliance

Status	Client IP	Comment	# Pkgs	Details
	10.6.73.48	Install failed due to issues with package pre-install checks.	0	 
	10.6.73.116	Install failed due to issues with package pre-install checks.	0	 

図 14 赤色アイコンの「Install Status」テーブル